

de-sport: 芸術によるスポーツの 解体と再構築

2020年6月27日(土)～
9月27日(日)

展覧会名	de-sport: 芸術によるスポーツの解体と再構築
会期	2020年6月27日(土)～9月27日(日) ※4月29日からの開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、6月27日(土)より開催します。なお、展覧会終了期日の延長はありません。
休場日	毎週月曜日(ただし8月10日は開場)、8月11日(火)、9月23日(水)
開場時間	10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)
会場	金沢21世紀美術館 展示室1～6、13
料金	一般 1,200円(1,000円) / 大学生 800円(600円) 小中高生 400円(300円) / 65歳以上の方 1,000円(1,000円) ※()内は前売り券(予約券)の料金 ※本展覧会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、日時指定入場制となりました。 ※金沢21世紀美術館ウェブサイトで、事前にご希望の入場時間帯の予約券をご購入ください。 6月19日10:00より前売販売開始。 詳細は6ページにてご確認ください。
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
協賛	株式会社ゴールドウイン / ニュートラルワークス
協力	株式会社アイ・オー・データ機器
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL: 076-220-2800

本資料に関する
お問合せ 金沢21世紀美術館 事業担当: 高橋洋介・高橋律子
広報担当: 石川聡子・齊藤千絵・落合博晃
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp E-mail: press@kanazawa21.jp



展覧会概要

本展は、東京2020オリンピック・パラリンピックを翌年に控え、芸術の視点からスポーツの意味を問い直す展覧会です。展覧会名「de-sport」(デスポーツ)は、中世フランス語で「楽しむこと」を意味する「desport」(デスポール)と、英語で「スポーツの解体・再構築」を意味する「deconstructed sport」(デコンストラクテッド・スポーツ)をかけた言葉です。スポーツは、その起源をたどれば、「日常の労働から離れた遊び」を意味し、音楽や演劇、絵画、舞踏などの芸術も含むものでした。磨き上げられた身体と技巧を誇示し、勝敗を競うことをエンターテインメントとして商品化する現代のスポーツに対して、本展はその起源に立ち返り、芸術の視点から、遊戯、身体、国家、戦争、非言語コミュニケーションといった今日の諸問題などを映し出す社会的構造物としてスポーツを再考します。9カ国10作家の芸術的視点から解体・再構築されたスポーツをぜひ観戦してみてください。

なお、本展覧会名は、本展出品作家の寒川裕人(ザ・ユージーン・スタジオ)の2014年の個展「supervision / Desport」に触発されています。

展覧会の特徴

芸術の視点からスポーツの意味を再考する異彩の展覧会

私たちはスポーツにどこか芸術と通じるものを見いだしています。例えば、体操やスケートの美しい動きに見とれたり、サッカーの信じがたいボール捌き^{さば}を芸術的と評したりするように、スポーツを表現の一つとして捉えることもできます。一方で、芸術の広大な歴史を見渡せば、ボクシングで絵を描く、恋人からの別れの手紙を射撃的にするなど、芸術家たちはさまざまな種目を題材にして、新しい表現を切り開いてきました。東京2020オリンピック・パラリンピックを控えるいま、改めて「スポーツと芸術」の起源に立ち返り、身体、国家、戦争、非言語コミュニケーションといった今日の諸問題などを映し出す社会的構造物としてのスポーツを、芸術の視点から再考します。

9か国10作家による国際色豊かな展覧会

地域、文化背景の異なる9か国から10作家のスポーツをテーマにした作品を紹介します。ヨコハマトリエンナーレ2017でも話題となったクリスチャン・ヤンコフスキーの《重量級の歴史》、第54回ヴェネツィア・ビエンナーレをはじめ国際展への参加も多数あるアローラ&カルサディーラの《陸上競技》など、スポーツを独自の視点で捉えたユニークな作品が一同に紹介します。



クリスチャン・ヤンコフスキー《重量級の歴史》2013
photo: Szymon Rogynski
Courtesy: the artist, Lisson Gallery



アローラ&カルサディーラ《陸上競技》2011
映像、作家蔵
©Allora & Calzadilla photo: Andrew Bordwin

アーティストが作り出した新しいスポーツを体験・鑑賞できます

当館所蔵の人気作品として知られるガブリエル・オロスコの《ピン=ポンド・テーブル》を隔週土曜に展覧会場で体験できます。また、エルヴィン・ヴルムの《1分間の彫刻》も体験できます。アーティストの視点から生み出された新たなスポーツを展覧会場でぜひ体験してください。



ガブリエル・オロスコ《ピン=ポンド・テーブル》1998
金沢21世紀美術館蔵
©Gabriel OROZCO
photo: KIOKU Keizo



エルヴィン・ヴルム《1分間の彫刻》2014
©Erwin WURM
photo: Katrin Binner

「de-sport」(デスポーツ)のデザインにも注目！

本展のタイトル「de-sport」(デスポーツ)は、中世フランス語で「楽しむこと」を意味する「desport」(デスポール)と、英語で「スポーツの解体・再構築」を意味する「deconstructed sport」(デコンストラクテッド・スポーツ)をかけた言葉ですが、本展のために「de-sport」のフォントを新たに開発しました。本展で再考するスポーツの意味を文字の持つ身体性を現代的に再解釈した書体からも探ってください。



出品作家

アローラ&カルサディーラ	西京人
エルヴィン・ヴルム	ザ・ユージーン・スタジオ
風間サチコ	シャルル・フレジェ
ガブリエル・オロスコ	柳井信乃
クリスチャン・ヤンコフスキー	リアム・ギリック

※会期変更にもない風間サチコの作品展示はなくなりましたが、作家は関連プログラムに参加します。

de-sport
展示構成

起源としての聖火

古代のオリンピックにおいて、聖火は、スポーツが死者や神々への捧げものであることを象徴するものであった。しかし、近代オリンピックの「聖火リレー」は、ナチスドイツがヨーロッパ文明の正当な継承者であることを誇示するためのプロパガンダとしてさまざまな芸術家を巻き込んで発明された。ナチス・ドイツを追われて亡命したヴァルター・ベンヤミンの道筋を、たった一人、聖火を持ってたどり直す《Blue Passages》は、このような「芸術とスポーツの政治化」に対抗し、聖火の意味を起源へと還すものとして読み解くことができる。

出品作家：柳井信乃



柳井信乃《Blue Passages》2016 作家蔵
©YANAI Shino

展示室2、展示室3

国民国家のエクササイズ

スポーツは、近代以降、ルールを遵守し集団として団結することを学ぶ道徳教育の一端を担ってきた。スポーツは、個人が集団の規律にあわせて身体を操作するための訓練であり、市民社会や国民国家の連帯の強化と、チームへの自己犠牲の精神を陶冶する教育実践の一環へと変貌した。このようなスポーツの側面は、オリンピックという世界的な規模のイベントにおいて、わかりやすく現れる。顕彰における国歌斉唱、国旗掲揚のように、個人というよりも、その個人を生み出した国民国家が称えられる。ここでは、このようなスポーツの機能と政治・芸術の関係を3人の芸術家たちの作品を通して再考する。

出品作家：

アローラ&カルサディーラ、シャルル・フレジェ、クリスチャン・ヤンコフスキー

【展示室2】

クリスチャン・ヤンコフスキー《重量級の歴史》2013年、シャルル・フレジェ「RIKISHI」2002～2003年ほか

【展示室3】

アローラ&カルサディーラ《陸上競技》2011年



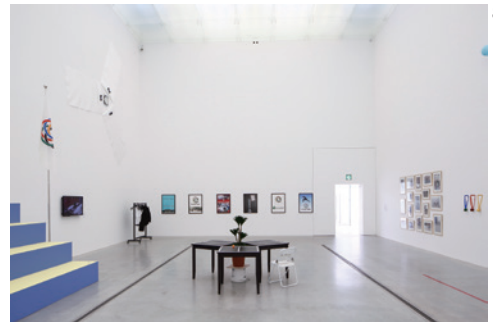
シャルル・フレジェ「RIKISHI」シリーズより
2002-2003
©Charles Fréger, courtesy MEM, Tokyo

展示室3・4の間、展示室4

競争なき遊戯

野球、サッカー、ラグビー、テニス、ゴルフ、バスケットボール、卓球、スキー、水泳、相撲、体操など「一定のルールのもと勝敗や記録が競われるゲームの総称」をスポーツと定義することもできる。しかし、近代以前の世界において、スポーツは、仕事や家事といった日常生活から離れて「楽しむ、休養する」ことを意味し、音楽や演劇、ダンスなどの芸術も含むさまざまな遊びの総称として使われていた。だが、現代のスポーツは、その語源——つまり、楽しむための遊びの総称——から遠ざかっていくように見える。ここでは、スポーツを遊びの領域へ再び戻す芸術家たちの試みを通して、効率的に身体を鍛えることでも、ルールにのっとった勝ちを至上とすることもなく、競争のない「純粋な遊びとしてのスポーツ」とは何かを考える。

出品作家：エルヴィン・ヴルム、西京人



西京人《第3章 ようこそ西京に — 西京オリンピック》2008
金沢21世紀美術館蔵
©Xijing Men
photo: KIOKU Keizo

8

展示室5+13

スポーツの起源にある創造

スポーツをいくつかの構成要素に分解するならば、身体の鍛錬、競争性、非言語によるコミュニケーション、音楽性を持ったリズム、軍事的な戦略、偶然性、賭博、貨幣経済などを挙げることができる。逆に、これらの要素で構成されたものであれば、それはスポーツと呼ぶことはできるのだろうか。あるいは、この構造を損なわずに、まったく新しいスポーツを発明することはできるのだろうか。ザ・ユージーン・スタジオの《Mr.Tagi's room and dream》は、このような問いに対する一つの解答だといえる。架空のスポーツ史家、Mr.Tagiによる新しいスポーツを記録したフェイクドキュメンタリーであり、作家は、ジャズを演奏しながらチェスをするという、新しいスポーツを生み出している。いま存在する全てのスポーツはかつて誰かが日常を離れて夢中になるために発明したものであれば、ここには、スポーツの起源にあった創造の楽しみが表現されているといえる。本展では、2014年に発表された同作を、6面の映像インスタレーションとして再構成した新しいバージョンで公開する。

出品作家：ザ・ユージーン・スタジオ



ザ・ユージーン・スタジオ
《Mr.Tagi's room and dream #four-handed》2020
作家蔵
photo: THE EUGENE Studio
©THE EUGENE Studio / Eugene Kangawa

9

ボールの中の宇宙

身体や記録を測定し、構造や運動が効率よいものとなるように改善していく近代のスポーツは、科学と工業の論理に結びついているといえる。しかし、古代において運動が神や自然や死者といった「見えないものと交流するための手段」であり、そこで「我を忘れること」が重要だった。近代オリンピックの創設者ピエール・ド・クーベルタンもまたスポーツを「自発的で日常的な信仰」と呼んだ。それは、近代においてなお、スポーツにも祈りのような宗教性がはらまれていることを意味する。

また、ボールを用いた種目でも、サッカーや蹴鞠^{けまり}、ラグビーなど、社会によってスポーツの形が変わることから、スポーツがある時代の社会の価値観を鏡のように映し出していることがわかる。ここでは、そのようなスポーツからみえるスポーツ以外の事象を思考する。

出品作家：ガブリエル・オロスコ、リアム・ギリック



ガブリエル・オロスコ《ピンポイント・テーブル》1998
金沢21世紀美術館蔵
©Gabriel OROZCO
photo: KIOKU Keizo



リアム・ギリック《ふたつの短い文章》2010
©Liam Gillick
Courtesy the artist & TARO NASU

関連プログラム

国民国家のエクササイズ：風間サチコ《ディスリンピック2680》を語る

登壇：風間サチコ、高橋洋介（de-sport 展担当キュレーター）

日時：2020年7月25日（土）14:00～15:30（開場13:45）

会場：レクチャーホール

定員：25名程度（当日先着順/ライブ配信あり）

参加費：無料

※後日、アーカイブ映像をオンライン配信いたします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から席間を空けての開催となります。

※都合により、プログラムの内容を変更する場合がございます。

日時指定
入場制チケット
ご購入について

本展覧会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、日時指定入場制となりました。金沢21世紀美術館ウェブサイトで、事前にご希望の入場時間枠の予約券をご購入ください。

【入場時間枠】

- (1) 10:00～11:30 (4) 14:30～16:00
(2) 11:30～13:00 (5) 16:00～17:30
(3) 13:00～14:30 (6) 17:30～19:30 ※(6)は金・土曜日のみ

※指定した入場時間枠の中でご入場いただけます。

※入場後の退出時間は自由ですが、再入場はできません。

◇予約券の購入・入場

予約券 購入開始日 2020年6月19日(金) 10:00～展覧会観覧日の前日 23:59

予約券 購入先 <http://www.kanazawa21.jp>

- ・ご希望の入場時間枠(日にち+時間)を選んで予約券をご購入ください。
- ・ご観覧の際は、内藤礼展会場入り口にて、予約券の購入済みページのQRコード画面またはプリントアウトしたものを提示の上、ご入場ください。



購入先

◇注意事項

- ・全ての予約券は、指定の入場時間枠以外でのご利用はできません。券面に記載の入場時間枠内にご入場ください。
- ・全ての予約券は、指定の入場時間枠ごとの数量限定販売となります(先着順・予定数量に達し次第販売終了)。
- ・各時間枠の入場開始直後は入場待ち列ができる場合がございます。
- ・当日券も若干枚数をご用意がございますが、予約券のご購入をお勧めします。
- ・ご購入済みの予約券の払戻しはいたしかねます。
- ・その他詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

広報用画像

画像1～11を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングをご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。